

特集
1

藤原鎌足は 茨木に居たのか？



各地に残る鎌足の足跡を
探ってみよう

歴史を動かした飛鳥時代の偉人・藤原鎌足。市内に残る彼のゆかりをたどりながら、歴史のロマンにひたってみてはいかがでしょう。

問合先 文化財資料館 ☎ 634・3433

歴史の教科書に載っている飛鳥時代の有名な国政改革「大化の改新（乙巳の変）」。その重要人物の一人が「藤原鎌足」です。実は藤原鎌足は、茨木にゆかりの深い人物であることをご存知でしょうか。

今回の特集では、特に市内の安威・桑原地域に残る鎌足のゆかりの地をご紹介します。鎌足と茨木の関係をひも解いていきます。開館40周年を迎えた文化財資料館で開催されるテーマ展と併せて、茨木における鎌足の足跡をたどってみませんか。

解説

藤原鎌足は

どんな人？

飛鳥時代の人で、元の名は中臣鎌足。中大兄皇子(天智天皇)とともに大化の改新を主導し、亡くなる直前に藤原の姓を授かりました。大化の改新を計画する際、「三島別業(現在の摂津三島地域にあったとされる別荘のこと)」に退去していたといひます。死後は人格化され、各地の神社などで祀られています。

1 藤原氏の始祖になった！

2 大化の改新(乙巳の変)の立役者！

3 死後、信仰の対象として祀られている！

「大織冠」の位を賜った政治家



●大織冠像
(地福寺所蔵)

手がかり

1

江戸時代の観光名所 「大織冠古廟」

※古廟古い墓という意味。

安威地域には、歴史上唯一鎌足だけが賜った冠位「大織冠」の名を冠する「大織冠神社」があります。江戸時代出版の観光情報誌『摂津名所図会』では、この神社にある將軍塚古墳が「大織冠古廟」として紹介されており、鎌足の墓だと認識されていたようです。周辺には大織冠古廟に至る道を示す道標や、鎌足が創建・建立したと伝わる神社仏閣が現存しています。

手がかりは古墳にあり!?

いまに伝わる

鎌足と茨木

手がかり

2

阿武山古墳は 鎌足の墓かもしれない!?

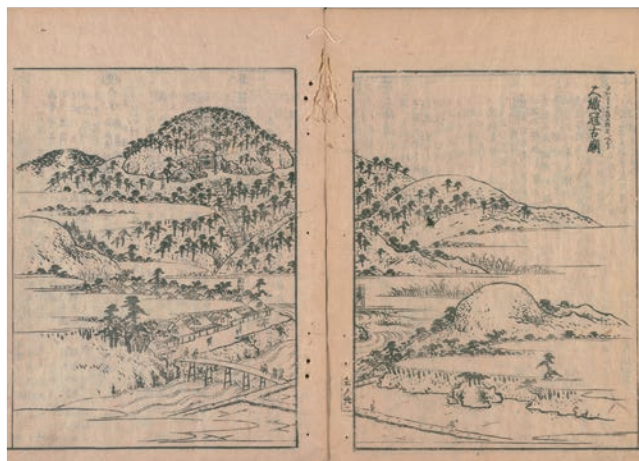
江戸時代には現在の大織冠神社にある古墳が鎌足の墓であると考えられていたが、現在では茨木市と高槻市にまたがる「阿武山古墳」が本当の墓であると

いう説が有力視されています。昭和の時代に発見されてから研究が進み、出土品などがその説を強く裏付けています。

ゆかりの地を見に行ってみよう
ではないか！



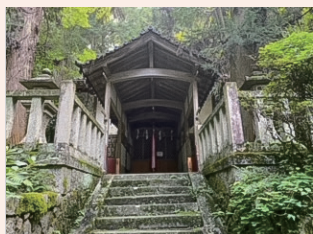
●「藤原鎌足公古墳道」と記された道標(所在：安威三丁目)



●『攝津名所圖會』国立国会図書館デジタルコレクションより/秋里籬馬 著述ほか、寛政8-10 [1796-1798]

藤原氏との縁が深い春日神社

現在の茨木市域に残る藤原氏の影響は、例えば市内の「春日神社」に見ることができます。春日神社の主祭神は藤原氏の祖神・天児屋命であり、市内に9社もあることから、藤原氏との結びつきをうかがえます。



(所在：豊川一丁目)



(所在：春日五丁目)

手がかりを元に、安威・桑原地域で現地調査！

鎌足が居た!? 地をめぐる

鎌足の逸話に関わる場所を、実際に歩いて
回ってみるのはいかがでしょうか。

現地では
おもしろい
発見があるかも
しれんぞ！



ウォーキングルート

移動時間の目安 約71分 / 約5.5 km

ゴール	バス停「大門南」	約8分	約600m
4	地福寺	約29分	約2300m
3	阿爲神社	約3分	約200m
2	大念寺	約19分	約1500m
1	大織冠神社	約12分	約900m
スタート	バス停「福井」		

※「大門南」に停まるバス
の本数が少ないため、
「」注意ください。

こちらもオススメ！

いばらき観光ウォーク
市観光協会のガイドによる解
説を聞きながら、名所をめぐ
るツアーイベント。11月は鎌
足にちなんだコースです。

11月23日(土・祝)
「紅葉の大門寺」
安威川ダムと蹴鞠
定員…40人(先着順)、
10月30日までに要申込
費用…500円
問合せ先…市観光協会
☎645・20020

詳細は
コチラ



1 大織冠神社

神社といっても社殿はなく、
鳥居と石段の先には鎌足の墓だ
と信じられていた石室があり、
その中に祠が建てられています
(將軍塚古墳)。古くから信仰の
対象として、遠方からも多くの
人々がお詣りに来ていました。

住所…西安威二丁目1

電話…643・7778 (阿爲神社)

拝観時間…境内自由

10/16
水

大織冠 神社祭

鎌足の命日に催さ
れる例祭。神事が
行われます。

●小高い山の頂にある石室と「大織冠鎌足
公古廟」と書かれた石碑



●住宅街を抜けた先にある、鳥居と社号碑が目印



鎌足の子孫・九条家の
使者も訪れた地

息子を開山として 鎌足自ら建立した



◎風情ある階段の先に、山門と本堂がある



◎絹本着色(けんぼんちゃくしよく)大織冠像
(個人蔵・大念寺寄託)

◎鎌足ゆかりの黄金の竹は、秋には一層金色が増すという



2 大念寺

前身である善法寺は、鎌足が自身の息子を開山※にすえて建立したと伝わっています。境内には、鎌足のお手植えとも、寺院の建立地の決定打になったとも伝わる、「黄金竹」が生えています。

※開山仏寺を初めて開いた僧のこと。

住所…安威三丁目17・3

電話…643・7678

拝観時間…開門時は境内自由

鎮守の森にたたずむ 安威村の氏神

◎「奉納蹴鞠」の様子



3 阿爲神社

鎌足が建立に関わったと伝わる神社。一説では、この周辺で大化の改新などの計画を練ったといわれています。藤原氏の祖神・天兒屋命を祀り、藤原氏の紋

「上がり藤」が掲げられているため、鎌足や藤原氏との強いつながりが感じられます。

住所…安威三丁目17・17

電話…643・7778 拝観時間…境内自由

11/23
土祝

奉納蹴鞠

収穫感謝のお祭りである「新嘗祭」に合わせて、雅な装束をまとった「蹴鞠保存会」の方々が蹴鞠を奉納。鎌足と中大兄皇子が親密になったきっかけが、蹴鞠だったといわれています。



◎緑に包まれた境内。晩秋には紅葉も楽しめる

鎌足の肖像画

「大織冠像」を伝える



①観音堂(写真右奥)には千手観音像が安置されている

大念寺と地福寺に残る、 そっくりな肖像画

鎌足とその息子である定慧、不比等の姿を描いた掛軸は「大織冠像」と呼ばれ、鎌足を信仰する人々が礼拝していました。同じ構図のものが地福寺や大念寺に伝わり、信仰の深さを裏付けています。



②紙本着色(しほんちゃくしよく) 大織冠像(地福寺所蔵)



③鎌足の肖像画が描かれた御朱印。300円

4 地福寺

鎌足が建立したと伝わっている

寺院。鎌足の念持仏※であったのと同じ千手観音の像や、鎌足の木像など、ゆかりの寺宝が残っており、その多くは文化財資料館のテーマ展(7ページ)で展示されます(普段は観音堂などに安置)。

※念持仏 個人が身近に置いて礼拝する仏像。

住所：桑原33・15

電話：643・6212

拝観時間：拝観または

御朱印授与希望の場合、

要事前連絡

足を
延ばして

阿武山古墳

鎌足の墓であるという説が有

力視されている古墳。高槻市との市境、阿武山の中腹にあります。盛り土はなく、幅2.5メートルほどの溝を円形にめぐらせることで、直径約82メートルの大きな墓域を形づくっています。中央に墓室があり、漆で麻布を貼り固めた棺が安置されていました。

所在：安威・高槻市奈佐原

ここに眠る貴人は

果たして鎌足か!?



①阿武山古墳の墓室と石碑



深掘りコラム 「埴」がつなぐ 鎌足の足跡

阿武山古墳から発見された古代の煉瓦「埴」。これが古墳に用いられることは珍しいですが、近隣のいくつかの古墳でも出土しています。出土品などからこの古墳に葬られた人は高位の人物だと予想され、墓の主が鎌足だという説の証の一つになっています。

この埴に類似したものが、沢良宜地域の東奈良遺跡で見つかっています。鎌足は大化の改新より前に「三島別業」に退去していましたが、この埴が見つかったことによっ

①阿武山古墳出土の埴(総持寺所蔵)



②東奈良遺跡出土の埴

て、「三島別業」は現在の沢良宜地域にあったのではないという研究が前進しました。

柄をよく見てみると、とても似ていることがわかるぞ



藤原鎌足と 大織冠信仰展



鎌足を
テーマにした
展示や講演会が
開催されるのじゃ

10/19(土)
12/9(月)

本市の指定文化財である地福寺「紙本著色大織冠像」などの文化財を中心に、鎌足に関わる作品や資料も併せて、安威地域周辺の鎌足信仰を解き明かします。4〜6ページで紹介した神社仏閣の宝物もたくさん展示されます！

関連イベント
クイズラリー

参加者には景品を
差し上げます



①定慧が鎌足の遺骸を阿武山から多武峯(とうのみね)に移す(「多武峯縁起絵巻下巻之二」、談山神社所蔵・奈良国立博物館寄託、画像提供：奈良国立博物館)

NEWS!!

40周年を記念して、 来館記念品リニューアル販売!



ミニ文化財が
かわいい!
カプセルトイ
何が出るかは
お楽しみ!

②2種、各限定
100枚、300円

文化財資料館

東奈良三丁目12-18 / TEL.634・3433 /
9:00~17:00 / 火曜・祝翌日休(火曜が祝日
の場合、または祝翌日が日曜の場合は開館)

注目ポイント 1

鎌足ゆかりの文化財が一堂に集結!

普段目にするのが難しい宝物が数多く集まります。奈良県指定文化財「多武峯縁起絵巻」などを展示。貴重な資料から鎌足と安威地域周辺の鎌足信仰への理解を深められるようになっています。

古墳から出土した金糸から、冠帽を復元。かなり高貴な人の副葬品=鎌足と予想!



高槻市立今城塚古代歴史館所蔵

注目ポイント 2

じっくり話を聞ける機会がたくさん!

11/16
土

学芸員講座「近世の安威村・桑原村と大織冠信仰」

講師 高橋伸拓 (本市学芸員)

時間 14時~15時30分 定員 80人*

11/24
日

講演会「藤原鎌足(大織冠)像の成立と伝播」

講師 谷口耕生 さん(奈良国立博物館企画室長)

時間 14時~15時30分 定員 80人*

11/30
土

講演会「古代の三島と藤原鎌足」

講師 吉川真司 さん(京都大学名誉教授)

時間 14時~15時30分 定員 80人*

10/6
日

郷土史教室講座「7世紀の茨木と中臣氏・藤原氏」

講師 菱田哲郎 さん(京都府立大学教授)

時間 14時~15時30分 定員 60人*

対象 中学生以上の市内在住・在勤・在学者

※当日先着・事前申込なし。



テーマ展でも
詳しく学べそう!
行ってみよう!